

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	eビジネスマーケティング論 (e-business marketing)		
ナンバリングコード	E20301	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル マーケティング・流通
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E038801	クラス名	-
担当教員名	泉 丙完		
履修上の注意、履修条件	教わるだけでなく、自ら考え新たなeビジネスを提案すること。 講義には必ず出席すること 講義では携帯・私語は厳禁、ただし、発表会では活発に討議に参加すること		
教科書	参考資料配布		
参考文献及び指定図書	「eビジネスの教科書」 幡鎌博著 (創生社) 「ITビジネスの原理」 尾原和啓著 (NHK出版)		
関連科目	マーケティング論、広告論、サービス・マーケティング論		

○基本情報			
授業の目的	インターネットを中心としたIT革命がビジネスのみならず政治、経済、社会のあらゆる分野に大きな変革を起こしつつある中、自分たちが大きな時代の変わり目にいることを認識してもらおう。その上でIT革命、特にインターネットが何を变えつつあるのかを、そのビジネスへの影響や新しいビジネスモデルなどについて具体的なケースに基づいて解説する。さらに、この数年ネット上でのWebの環境変化が著しく、いわゆる「Web 2.0」とよばれる新しい方向性がWeb上でビジネスを行う企業のサービスモデルやシステムそのものを大きく変えつつあり、これらの環境変化は企業のマーケティング活動に大きな変革をもたらしている。 この講義ではeコマースやフリービジネス、プラットフォーム、モバイルビジネスを中心に学び、演習形式により新たなeビジネスを提案するスキルを身につけることを目的とする。		
授業の概要	eビジネスとはどういうことか、eビジネスが活発化した経済的背景、eビジネスの基盤としてのインターネットの動向、eビジネスの先頭を走る企業活動の事例などを学ぶ。さらに、これらの事例に基づき、新たなeビジネスを提案する演習を行う。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	泉丙完 本授業のITビジネスに関連し、三菱電機(株)でIT関連の技術開発に従事する。 また、製造業に関連し(株)泉精器製作所で開発製造に従事する。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	インターネットの仕組みや機能の基本が説明できる。	20点		
【知識・理解】	インターネットがビジネスをどのように変えようとしているか説明できる。	20点		
【技能・表現・コミュニケーション】	eビジネスの主要なプレイヤーの概要について説明できる。			30点
【思考・判断・創造】	講義、演習を通して新たなeビジネスの提案をイメージできる。			30点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
3回の発表と最後の総合テストの総合評価による。また、出席状況・受講態度も考慮する。 プレゼンについては授業中において評価、講評等を行い、レポートについては評価の上、本人に後日フィードバックする。	

○その他	
(この欄は空欄です)	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	eビジネスマーケティング論 (e-business marketing) 泉 丙完	授業コード	E038801
<b>学修内容</b>				
<b>1. eビジネス概要①</b> ビジネスとは何か、eがつくことで何がかわるかを学び、具体的な事例についてディスカッションする。				
予習	「eビジネスの教科書」 pp.1～11	調査		約2時間
復習	「eビジネスの教科書」 pp.1～11 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>2. eビジネス概要②</b> eビジネスが盛んになった背景や現状などeビジネス論の基礎を学び、具体的な事例についてディスカッションする。				
予習	「eビジネスの教科書」 pp.12～50	調査		約2時間
復習	「eビジネスの教科書」 pp.12～50 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>3. eコマース①</b> eコマースに関連する主要IT企業、EC市場の動向についてを学び、具体的な事例についてディスカッションする。				
予習	「eビジネスの教科書」 pp.51～60	調査		約2時間
復習	「eビジネスの教科書」 pp.51～60 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>4. eコマース②</b> eコマースに関連するコンテンツ配信、ショッピング、ゲームやオンライン決済の動向についてを学び、具体的な事例についてディスカッションする。				
予習	「eビジネスの教科書」 pp.61～77	調査		約2時間
復習	「eビジネスの教科書」 pp.61～77 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>5. eコマース提案の検討</b> 今後、予想されるECサイトをグループ別に調査、提案する。				
予習	「eビジネスの教科書」 pp.78～96	調査		約2時間
復習	「eビジネスの教科書」 pp.78～96 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>6. eコマース提案の発表</b> 提案したECサイトを発表し、みんなで討論することにより理解を深める。				
予習	「eビジネスの教科書」 pp.1～11	調査		約2時間
復習	「eビジネスの教科書」 pp.1～11 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>7. フリービジネス①</b> ネットビジネスのキーワードのひとつに、フリーのコンセプト及びフリー ビジネスについて学ぶ。				
予習	「ITビジネスの原理」 pp.18～35	調査		約2時間
復習	「ITビジネスの原理」 pp.18～35 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>8. フリービジネス②</b> フリーのビジネスモデルをリードする日本、欧米の先端企業の事例について学ぶ。				
予習	「ITビジネスの原理」 pp.52～62	調査		約2時間
復習	「ITビジネスの原理」 pp.52～62 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	eビジネスマーケティング論 (e-business marketing) 泉 丙完	授業コード	E038801
<b>学修内容</b>				
<b>9. フリービジネス提案の検討</b> 今後、予想されるフリービジネスをグループ別に調査し、新たなビジネスを提案する。				
予習	「ITビジネスの原理」 pp.36～51	調査		約2時間
復習	「ITビジネスの原理」 pp.36～51 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>10. フリービジネス提案の発表</b> 提案したフリービジネスを発表し、みんなで討論することにより理解を深める。				
予習	「ITビジネスの原理」 pp.18～35	調査		約2時間
復習	「ITビジネスの原理」 pp.18～35 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>11. プラットフォーム</b> インターネットの普及により、顧客管理・セキュリティのため ビジネスとしてポテンシャルが大きくなってきた、「プラットフォーム」について考える。				
予習	「ITビジネスの原理」 pp.65～77	調査		約2時間
復習	「ITビジネスの原理」 pp.68～77 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>12. モバイルサービス①</b> eビジネスを支えるモバイルの技術的動向やキャリアーの動向を学び、具体的な事例についてディスカッションする。				
予習	「ITビジネスの原理」 pp.80～89	調査		約2時間
復習	「ITビジネスの原理」 pp.80～89 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>13. モバイルサービス②</b> eビジネスを創出するための、各種モバイルサービスの動向を学び、具体的な事例についてディスカッションする。				
予習	「ITビジネスの原理」 pp.90～116	調査		約2時間
復習	「ITビジネスの原理」 pp.90～116 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>14. モバイルサービス提案の検討</b> 今後、予想されるモバイルサービスをグループ別に調査し、新たなビジネスを提案する。				
予習	「eビジネスの教科書」 pp.123～141	調査		約2時間
復習	「eビジネスの教科書」 pp.123～141 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>15. モバイルサービス提案の発表</b> 提案したモバイルサービスを発表し、みんなで討論することにより理解を深める。				
予習	「eビジネスの教科書」 pp.142～163	調査		約2時間
復習	「eビジネスの教科書」 pp.142～163 に関する具体的な事例のまとめ			約2時間
<b>16. 期末試験</b> 期末試験により、学んだことの知識習得状況を確認する。				
予習				
復習				